

たき火・野焼きは原則禁止！！

あなたの不注意が山火事に・・・

全国各地で大規模な林野火災により甚大な被害が発生しています。

長門市においても平成 30 年には鎮火までに約 24 時間を要し、1.2ha を焼損した林野火災が発生したところです。空気が乾燥し、風が強い日に山に火が入ってしまうと、一気に延焼拡大するため火の取り扱いには細心の注意を払いましょう。

野外焼却は原則禁止ですが、農業、林業、漁業を営む上でやむを得ないもの（畔焼き等）、風俗習慣上や宗教上の行事（どんと焼き等）、軽微なたき火などは例外として認められています。

やむを得ず例外として認められる焼却をするときは・・・

- ・煙が近所迷惑にならないよう配慮する。
- ・風の強い日や火災気象通報が発令されているときは行わない。
- ・消火の準備と火の後始末は確実に行う。
- ・消防署へ火災と紛らわしい行為の届出をする。

※消防署への届出は、たき火行為に許可を与えるものではなく、万が一に備え、火災と紛らわしい行為が行われている場所を把握するためです。

野焼きからの火災件数(長門市)

令和6年の火災件数は 19 件でした。そのうち8件の火災原因が野焼き行為でした。野焼きを行う際は軽い気持ちで火をつけるのではなく、万が一火が大きくなってしまった時でも、すぐさま対応できるよう消火の準備を必ず行い、気を引き締めて実施するようにしてください。



問い合わせ：長門市消防本部 (TEL22-0119)